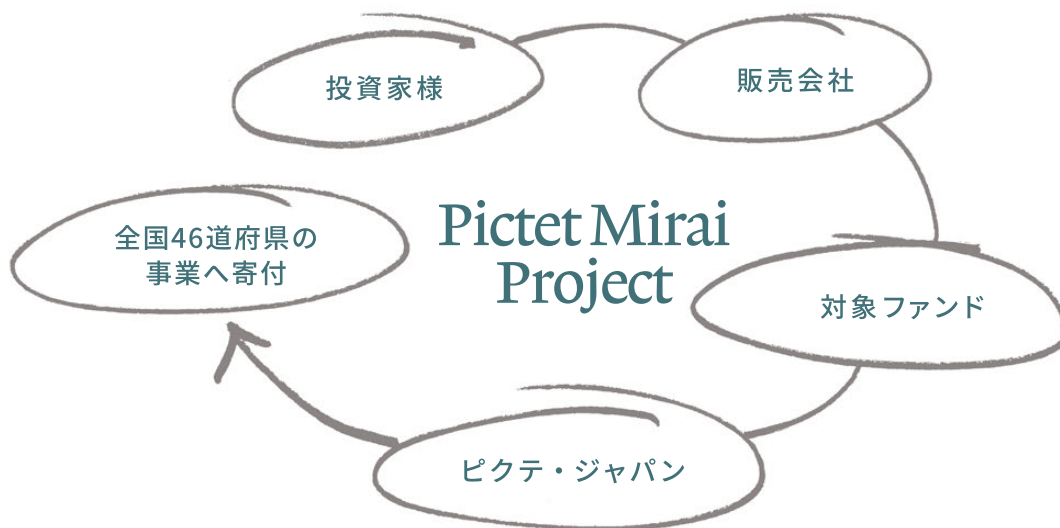


地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県^注の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2024年は約6,130万円の寄付を行います。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2024年9月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2024年度
寄付先事業例
山形県



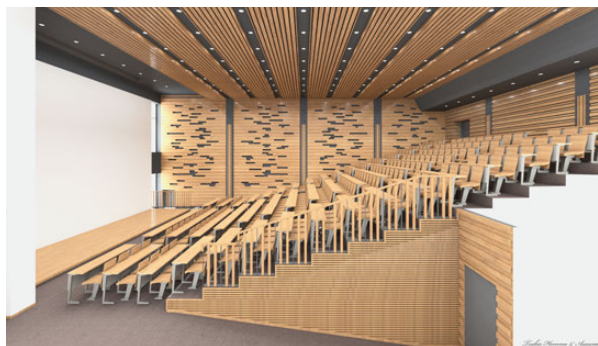
「GLOCAL RENOVATOR」～農林業に新風を～ 東北農林専門職大学プロジェクト

東北初となる農林業専門職大学として、令和6年4月に開学した東北農林専門職大学は、教養と農林業経営に関する知識と技術を持ち、国際情勢など時代の変化に対応した経営戦略を構築できる農林業人材を育成するとともに、農林業に関する教育、研究の成果を地域に還元し、もって本県ひいては東北の農林業の発展と地方創生に資するものである。

寄付先事業例のイメージ



基本設計パース



大講義室



ロビー

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

